

臨床研究に関する公開情報

製鉄記念八幡病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

胸腹部外科手術における術後合併症および1年後生命予後に影響する因子の検討

[研究責任者]

山内 康太（製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 理学療法士）

[研究の背景]

近年、手術技術の進歩に伴い内視鏡手術が可能となり、術侵襲は少なくなっているものの高難度手術の導入や適応患者の高齢化により、術後合併症を併発するリスクは高くなっています。胸腹部外科術後患者において、術後のリハビリテーションは早期離床を中心に術後合併症予防およびADL拡大を図り、早期回復および社会復帰に貢献することが最重要課題となっています。また、術前の身体機能は術後経過を大きく左右することも周知の事実であり、いかに術前からの身体機能向上あるいは維持するかが重要な鍵となります。しかし、昨今のわが国における医療制度では、在院日数の短縮が叫ばれるなか術前の入院期間の確保および監視型のリハは非常に困難な状況にあります。そのため、術前の身体機能を十分に把握し、予め術後合併症のリスク因子を特定しておくことは、術後の円滑なリハの遂行に大きな役割を持ちますが、その評価は十分ではありません。

[研究の目的]

本研究では、術前のフレイルおよびサルコペニア、骨格筋肉量が術後合併症および経過に及ぼす影響について検討し、問題点を明らかにすることを目的としています。本研究の成果により、外科周術期における栄養療法・リハビリテーション治療、そして周術期管理全般の発展・有効な治療戦略の開発によって手術をうける患者様の社会復帰を進める一助となることを期待しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院にて2015年10月1日～2019年10月31日の間に胸腹部手術を受けた患者さんを対象としています。

●研究期間：機関長許可日から2025年3月31日

●利用する検体、カルテ情報、検体： 利用なし

カルテ情報：

1. 患者さんの背景情報（診断名、年齢、身長、体重、性別、入院日、CT画像など）
2. 周術期治療の情報（術式、リハビリテーション、栄養療法、合併症の有無）
3. 患者さんの転帰（退院転帰、1年後の治療経過）

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。情報は当院の研究責任者及び、情報の提供先である製鉄記念八幡病院が責任を持って適切に管理いたします。研究成果は集中治療学会やその関連雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[研究協力の任意性と撤回の自由について]

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをご申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

[研究資金及び利益相反について] 研究における利益相反とは、研究結果がゆがめられる恐れのある利益が発生している状態をいいます。本研究には、研究資金はありません。また、本研究における当院の研究者の利益相反についてございません。

[問い合わせ先]

製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部 山内康太
電話 093-671-9318 FAX 093-671-9318